

平成23年度 一般会計当初予算の概要

平成23年度の子算編成にあたり

日本経済は、景気の回復が足踏み状態にある中、デフレや円高が続ぎ、厳しい雇用・所得環境が国民生活に不安の影を落としていきます。また、深刻な財政状況や社会保障制度の持続性確保の問題から、将来への不安感が解消されるに至っていません。

国では、「経済成長」「財政健全化」「社会保障改革」を一体的に実現し、地域に根ざした元気な日本を復活させるために、国民生活を第一に掲げるとともに、『成長と雇用』を予算の最大のテーマとして、持続可能な成長の基盤整備に取り組むこととしています。

地方財政については、地方が地域活性化・雇用・子育て施策を継続して実施する必要性から地方交付税が増額されますが、社会保障関係費の大幅な増加も見込まれるため、地方公共団体においては、市民の皆さんが将来に不安を抱くことなく日々過ごすことができるように、これまで以上に持続可能な行財政運営を確保する努力が求められます。

こうした状況の中で編成された本市の平成23年度予算は、財政健全化の取り組みを継続する一方で、『古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ』という新たな将来像掲げた、第5次行田市総合振興計画のスタートを切るための予算であり、その実現に向けて、市民の皆さんと目標を共有し、共にまちづくりを進めていかなければなりません。そのため、まちづくりの基本理念である「ひと・地域・まち」の3つの「元気」を創出するための大綱に沿った施策について重点的に予算を配分しています。

本年は、映画「のぼうの城」の公開や、初となる関東B-1グランプリの開催など、まちの魅力を再確認し、発信していくまたとない機会です。これらを最大限に活用して、活気と活力ある「元気な行田」を創出していきます。

社会・経済情勢の厳しい時代だからこそ、市民の皆さんが夢を持っていきいきと過ごせるまちの実現を目指して、全力で取り組んでいきますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

